

地域に「はたらく」をつくる

400-406 **1** 就労支援を「支援する」—はたらく NIPPON！計画の取り組み
●竹村利道

408-421 **2** 各地のモデル事業
・仲町観音通り商店街で働く…満野厚美
・中国茶を通じた障害者就労支援…青井一展
・スポーツ施設に隣接するスポーツカフェ&バー…神一世子
・鹿児島の繁華街「天文館」にフルーツパーラーを開店します…宮之原綾子
・障害者の夜間就労を通しての観光拠点の創出…森口 誠
・郡上八幡二代目だんご屋復活プロジェクト—観光地という条件を活かした障害者の就労支援…大坪隆成
・地域を醸すソーシャルワイナリー…高橋和也

423-428 **3** 福祉就労実態調査と海外視察調査
●公益財団法人日本財団 公益事業部

430-432 **4** まとめ—変化の兆し
●竹村利道



2015年にスタートした日本財団の「はたらく NIPPON！計画」は、「モデル構築プロジェクト」と「就労支援フォーラム NIPPON」を大きな2つの柱として、地域に根ざした、障害者就労支援の新しいモデルを支援しています。4年目を迎え、新たな事業、定着した事業も増え、方向性やノウハウが蓄積される一方で、課題も見えてきました。

本特集では、「はたらく NIPPON！計画」の助成を受け動き出しているモデル事業を紹介しながら、本計画を通じた障害者就労支援の手法を提示できればと思います。

企画担当 ● 竹村利道（日本財団公益事業部国内事業開発チーム）